

## ■農林水産業・地域の活力創造プラン（平成25年12月10日農林水産業・地域の活力創造本部決定）

### III 政策の展開方向

#### 2. 6次産業化等の推進

農林漁業の成長産業化のためには、市場を意識し、消費者の需要に応じて農林水産物を生産・供給するとの発想（マーケットインの発想）による、需要と供給をつなぐバリューチェーンの構築が不可欠である。

このため、女性や若者を含めた多様な人材を活用し、農商工連携や医福食農連携等の6次産業化を進めることにより、農林水産物の付加価値向上を図る。また、農山漁村における地域資源を活用した再生可能エネルギーの導入を促進する。（略）これにより、農山漁村の有する潜在力を引き出し、新たな所得と雇用を生み出す。

#### 展開する施策

##### ④ 農林漁業の健全な発展と調和のとれた再生可能エネルギーの導入促進

- ・ バイオマス産業都市の構築を推進
- ・ 食品循環資源のメタン化による地域分散型エネルギーの創出とこれに伴う消化液、余熱等の活用による高付加価値農業を同時に推進する食品リサイクルループを推進

##### ⑤ 食品ロス削減の推進

- ・ 食品ロス削減にフードチェーン全体で取り組んでいくため、関係省庁が連携し、官民をあげた食品ロス削減国民運動（NO-FOODLOSS PROJECT）を展開

## 市民インターネット座談会の進捗報告 (H25 年度食品産業の地球温暖化・省エネルギー対策促進事業より)

食品産業の取り組みが消費者に正しく認識されているか、消費生活の中で環境負荷削減に結びついているかについて市民の声を聞くことを目的として、25 年 10 月から市民インターネット座談会を開催中。

### 1. 座談会の現況（12 月 3 日現在）

- 参加者数 551 名（女性 96%；40 代 37%、30 代 32%、50 代 16%、20 代 11%）
- 総投稿数 1,408 件
- 投稿している参加者の数 281 名（女性 97%；40 代 38%、30 代 34%、50 代 16%、20 代 9%）
- テーマ数 6 項目 17 テーマ

[ ]は意見募集期間

<b>食品の期限について</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・食べ物の“期限”はどのくらい気にしていますか？[9/27～10/24]</li> <li>・賞味期限と消費期限、違いに悩んだことはありますか？[10/24～11/11]</li> <li>・賞味期限について、もう少しご意見を聞かせてください！（1/3 ルールについて） [11/11～11/30]</li> </ul>
<b>包装について</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと簡易包装でいいのに・・・と思う食品は？[9/27～10/24]</li> <li>・簡易包装の食品ってどうですか？[10/24～11/11]</li> </ul>
<b>外食について</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・外食したときにもったいないと思うことは？[9/27～10/24]</li> <li>・外食でドギーバッグを広めるにはどうしたらいい？[10/24～11/11]</li> </ul>
<b>家での食品ロスについて</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・家で食べ物を捨ててしまう理由[11/11～11/30]</li> <li>・家で食べ物を捨てないための“商品”や“売り方”の工夫[11/11～]</li> <li>・使い切れなくてよく捨ててしまう食材や加工食品は何ですか[11/30～]</li> <li>・食品を買うと付いてくる、いらぬ調味料や添え物は何ですか[11/30～]</li> </ul>
<b>家での取り組みについて</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・お料理に使うガスや電気の節約術を教えてください。[9/27～10/24]</li> <li>・加工食品の良いところ、上手な使い方[10/24～11/11]</li> </ul>
<b>企業の取り組みについて</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・あなたのお気に入りのエコな食品や外食メニュー[10/24～11/11]</li> <li>・企業のエコな取り組み、食品選びの参考にしていますか？[11/11～11/30]</li> <li>・“イメージの良い企業”とはどんな企業ですか。[11/30～]</li> <li>・どんなときに、「この企業は環境にやさしい企業だな」と思いますか。[11/30～]</li> </ul>

## 2. 食品の期限に関する意見のまとめ

ここでは、意見募集を行ったテーマのうち、食品の期限のテーマで出された意見について以下にまとめる。

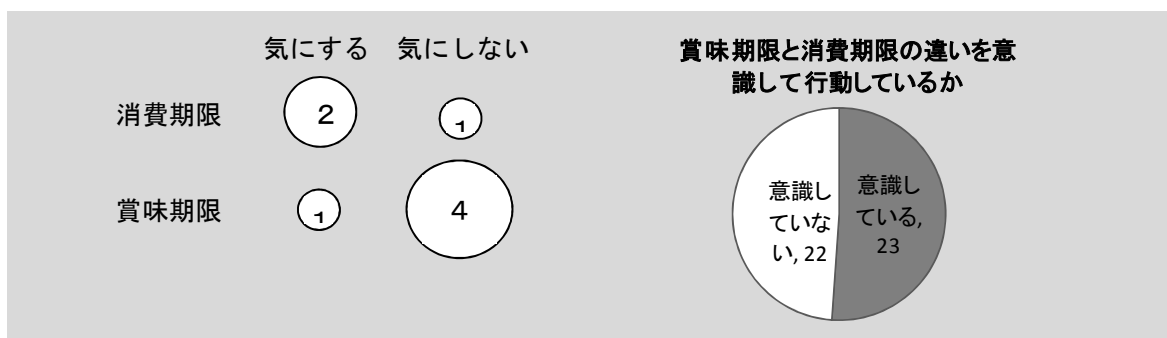
### <食品の期限について>

#### (1) 期限を気にするかしないか

消費期限については、気にする人と気にしない人との割合が2：1程度で気にする人が多かった。一方、賞味期限については1：4程度と、気にしない人が圧倒的に多かった。

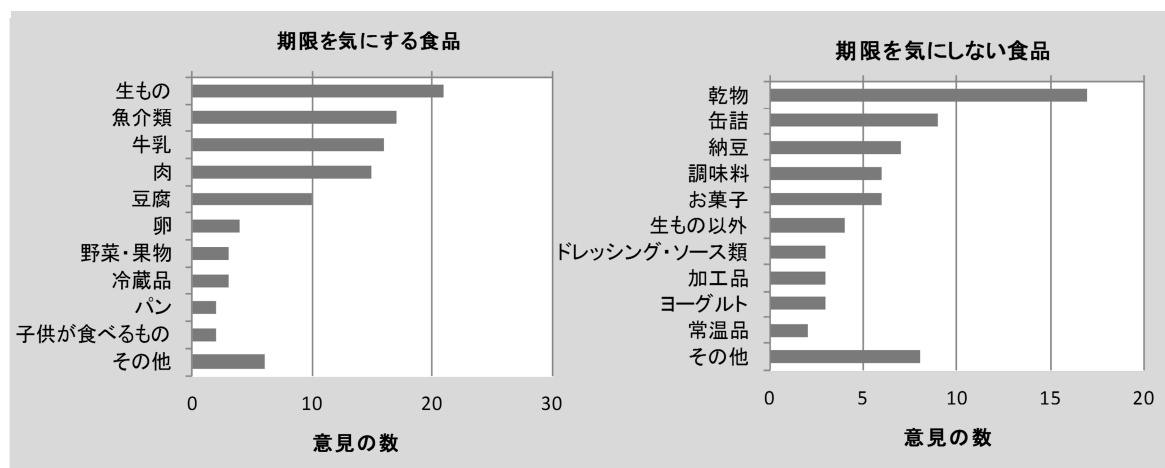
また、「自分の目や鼻で判断する」等、表示期限にはこだわらず、五感を使って自分で判断するとコメントした人が多く、そのようなコメントが全124件中29件あった。

「消費期限が切れると食べないが、賞味期限は切れても食べる」など、賞味期限と消費期限の違いを意識して行動している人と、そうでない人の割合は半々であった。ただし、「意識していない」には違いを知らない人も含んでいる。



#### (2) 期限を気にする食品は何か

期限を気にする食品は、魚、肉、牛乳といった生ものが多かった。気にしない食品は乾物、缶詰、納豆、調味料といったものであり、元々日持ちのする加工食品については表示期限にはあまりこだわらずに消費している人が多いようである。

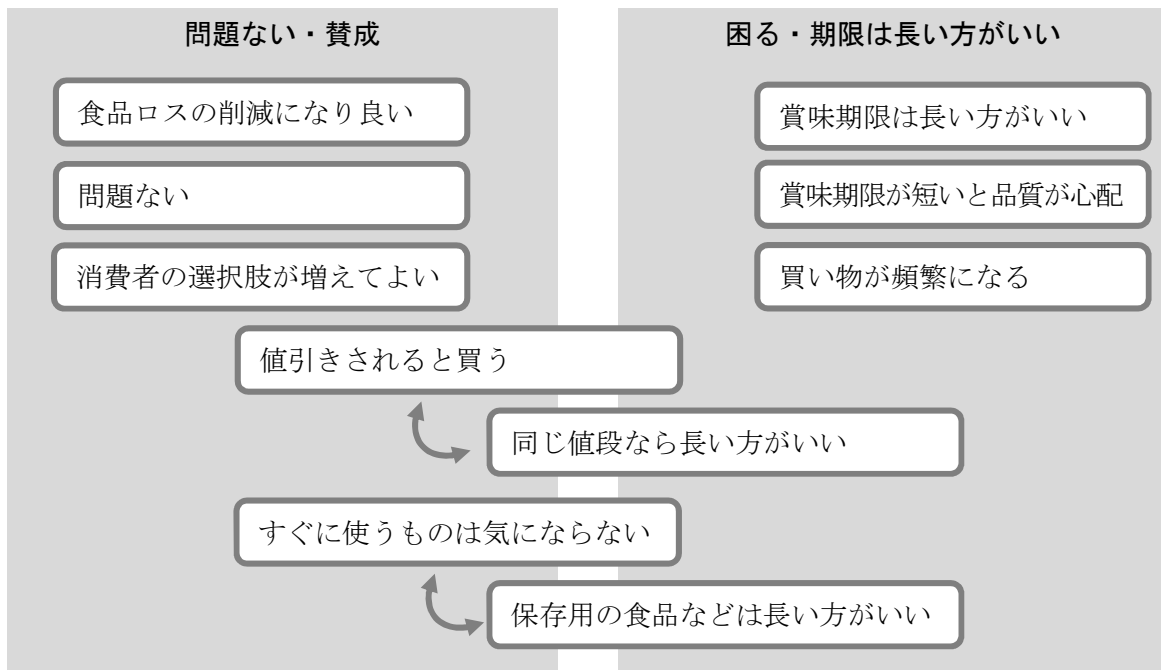


### (3) 食品を買うときはどう行動しているか

一方で、食品を買うときにはどのような行動をとっているかに絞ってコメントを見ると、やはりなるべく新しいものを買うと答えた人が多かった。ただし、賞味期限が近いために値引きされている商品は積極的に買うという意見も多く出ていた。

また、買う際は期限の長い方を買うにも関わらず、家で保管すると無頓着になり、期限が過ぎたものも平気で食べる、といった意見もあった。

そこで、1/3ルールが見直され、今より賞味期限の近い商品が店頭に並ぶとどう思うか？とのテーマを掲載した。意見の大半は、「捨ててしまうのはもったいないので賛成です。」「早めに食べればよいので気にしません。」「賞味期限が近いものは値引きしてもらえれば積極的に買います。」など、ルールの見直しに好意的なものであった。大きく分けて以下のような意見があった。



### (4) まとめ

- ・ 消費期限と賞味期限の違いを理解した上で、賞味期限については自分の五感で判断する人が多い。
- ・ 最終的に消費する時点ではあまり期限は気にしないが、買う際は気にして期限の長い方を買う、といった多少矛盾した消費者の心理が見てとれた。商品を買うときは期限しか違いがないために“お得感”で期限の長い方を選ぶが、実際はそれほど期限に重きを置いていないため、家では期限切れでも平気で食べているという実態が見てとれた。
- ・ 賞味期限が今より近い食品が店頭に並ぶことに対しては、無条件あるいは値引きなどの条件付きで賛成する意見が多かった。